

H29年度地域ケア個別会議からみえてきた  
小さな地域ネットワーク

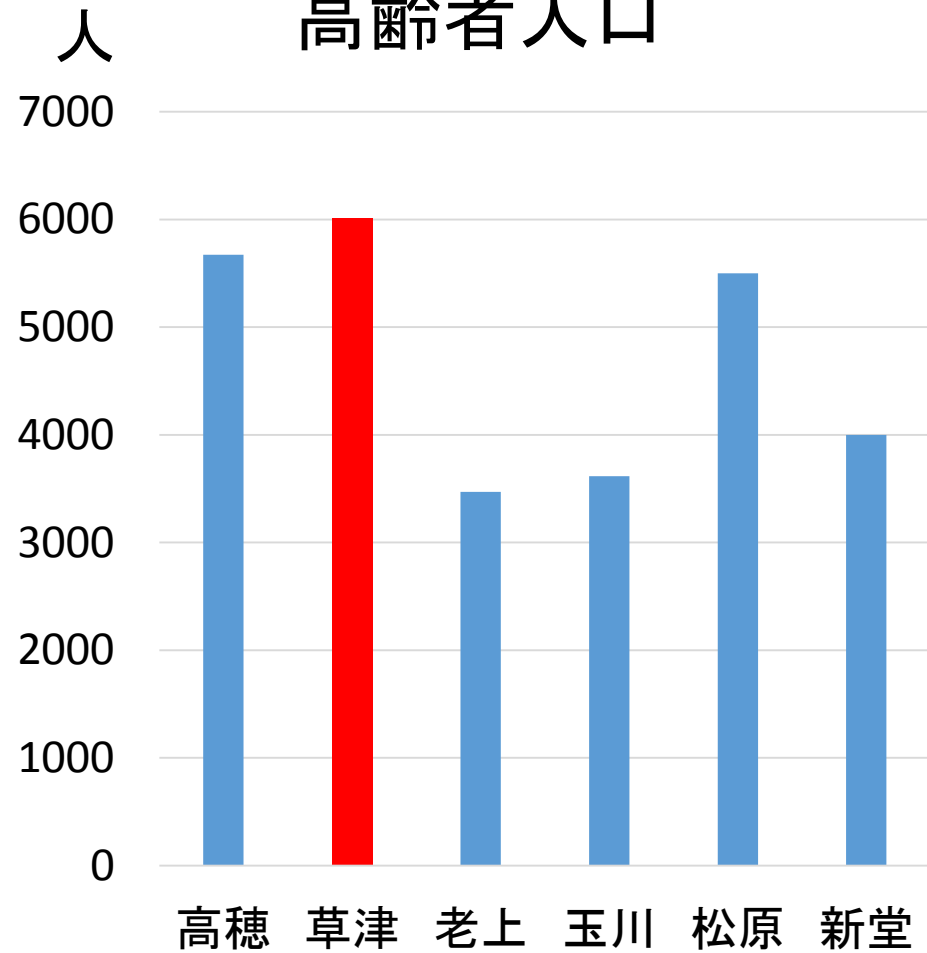
草津市草津地域包括支援センター



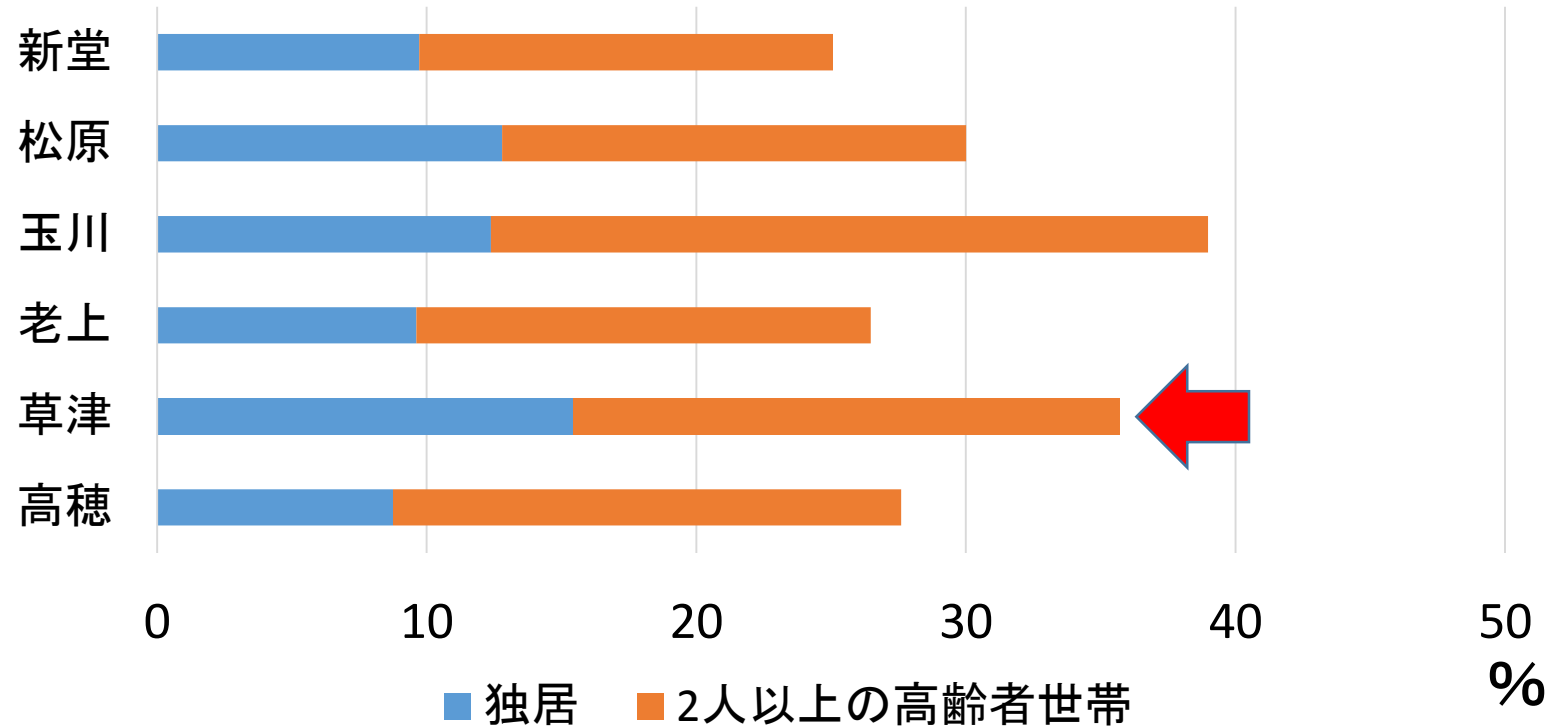
イメージキャラクターくさほちゃん

# I 背景【草津中学校区の概要】(平成29年5月31日現在)

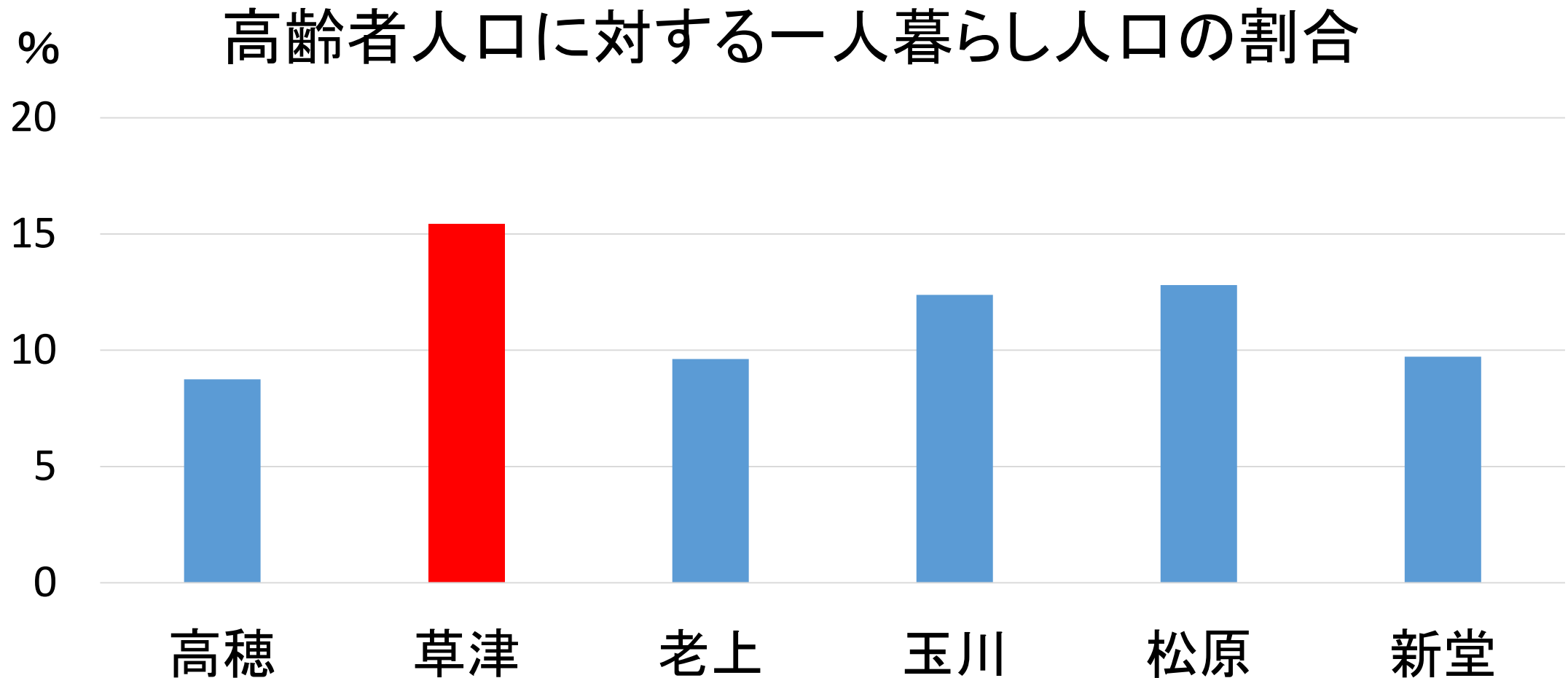
## 高齢者人口



## 高齢者人口に対する 高齢者のみの世帯の割合



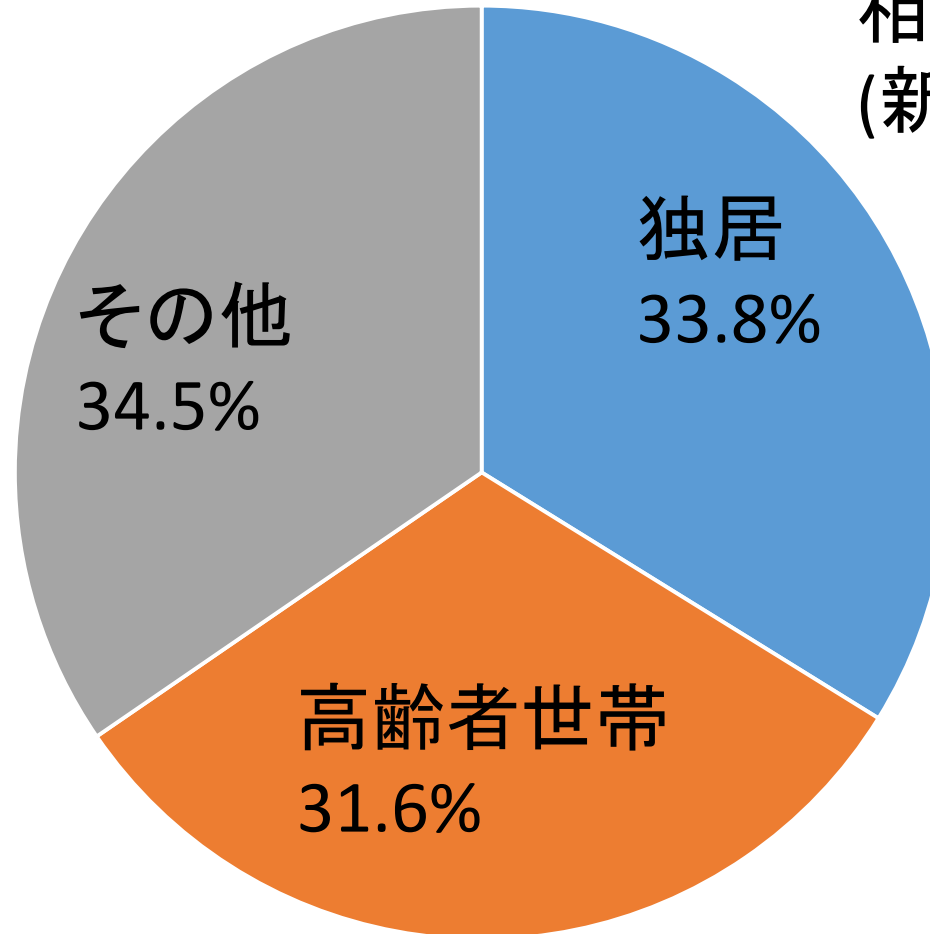
# I 背景【草津中学校区の概要】(平成29年5月31日現在)



# I 背景【H29年度 草津地域包括支援センター相談実績】

## 世帯構成

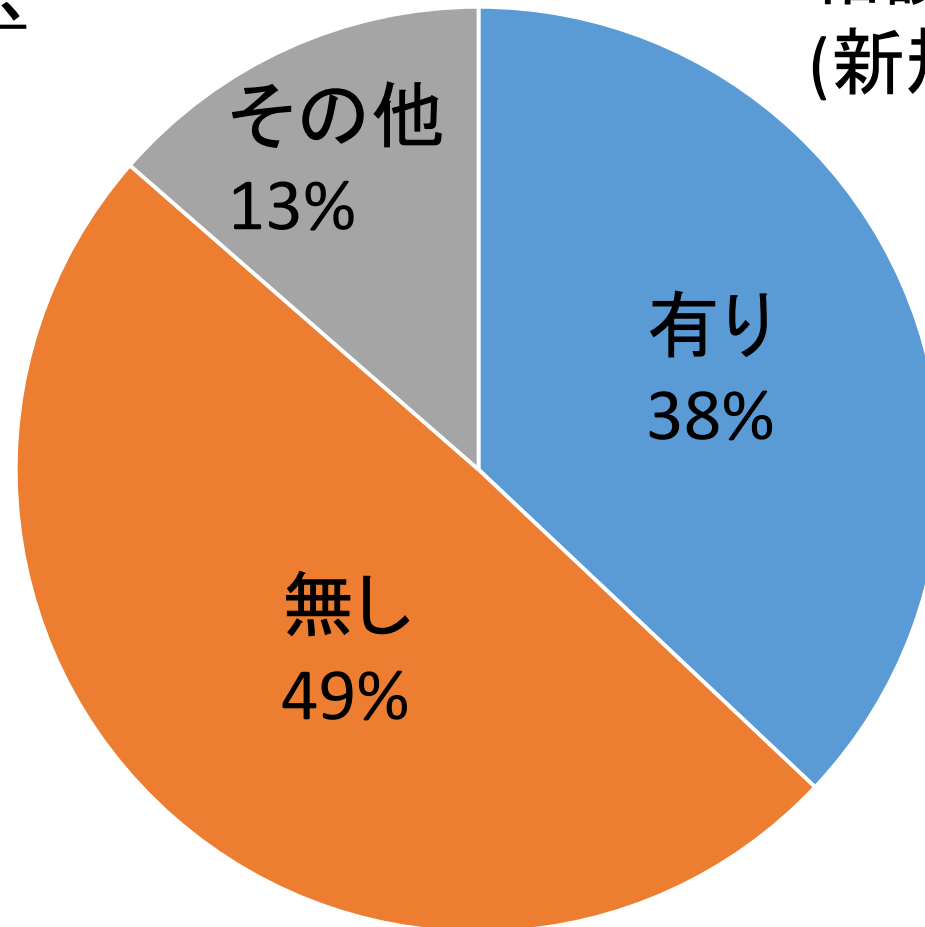
相談実数405件  
(新規301件 継続105件)



# I 背景 【H29年度 草津地域包括支援センター相談実績】

## 認知症の有無

相談実数405件  
(新規301件 継続105件)



# I 背景【まとめ】

- ◇1高齢者数は多いが、高齢化率は他と比べて高くない。
- ◇2一人暮らしの高齢者が多く住まわれている。高齢者のみの世帯が多い。
- ◇3実際地域包括支援センターに相談実績の中で認知症の方は38%を占める。



- ◆1個人や親族だけでは介護を要した場合支えきれない
- ◆2地域(隣の方やお店など)の力を借りていくことが必要



**地域ケア個別会議開催の必要性がある!**

(H29年度会議開催・・・6件)

## Ⅱ 地域ケア個別会議の実例報告

- ① 女性 80歳代 要介護3 夫婦二人暮らし。認知症有り。子の関わり有り。
- ◆課題◆お店まで出かけると帰るべき曲がり角を通過してしまう。
  - ◆目的◆頻度は少ないが外出時の地域の見守りを一緒に検討してもらう
  - ◆参加者◆夫婦・子・民生委員・自治会長・ケアマネ・事業所・包括・行政
  - ◆結果◆本人は夫共に地域の活動に参加し認知度を高める。地域は自治会役員で情報共有し、買物などで出かけられたら声かけまたは連絡してもらう。
- ② 男性 80歳代 要介護3 独居 発達障がい+認知症 親族無し
- ◆課題◆一人で出かけて警察に保護されている。難聴。コンビニ以外出かけない。
  - ◆目的◆外出時の地域の見守りを一緒に検討してもらう。
  - ◆参加者◆大家・民生委員・後見人・ケアマネ・事業所・包括・行政
  - ◆結果◆民生委員にも顔を覚えてもらう。コンビニに見守りを依頼する。

## Ⅱ 地域ケア個別会議の実例報告

- ③男性 80歳代 要介護1 子と二人暮らし 軽度認知機能障害 他市子在住
- ◆課題◆コンビニに出かけ駅まで行き戻れなくなった。子の知らない間に出る。
  - ◆目的◆外出時の地域見守りを一緒に検討してもらう。
  - ◆参加者◆子・町内会長・民生委員・ケアマネ・事業所・包括・行政
  - ◆結果◆本人に地域の活動に参加してもらう。地域は活動に参加時顔見知りになり声かけをしやすくする。コンビニに見守りを依頼する。
- ④男性 60歳代 要介護1 独居 認知症 親族無し 地域ケア会議二回目
- ◆課題◆妻が亡くなられて間が無く探して回られる。
  - ◆目的◆外出時の地域の見守りを一緒に検討してもらう。
  - ◆参加者◆後見人・ケアマネ・事業所・包括・(一回目に自治会長参加)
  - ◆結果◆地域には妻が亡くなられた話はあえては出されないよう依頼する。サービス事業所間で対応を共有した。



# Ⅲ 地域ケア個別会議の実例 **その成果**

## ①のケース<その後>

夫も認知症の診断が出て、子から「あの地域の役員さんは熱心なので、また開催して欲しい」とケアマネに伝言される。

## ②と③のケース<その後>

近隣のコンビニに子または後見人と挨拶に伺う(会議出席は時間がないので欠席)。コンビニの方は本人を前からご存知で「混んでいない時間帯で別方向に行くようなら声かけます。」と協力的でした。

## ④のケース<その後>

本人が近隣歩行中転倒し救急車で病院へ。通所事業所が本人不在で搜索。本人を見かけた方が自治会長に連絡。会長→包括→ケアマネ→事業所と連携し、事業所が病院に迎えに行かれた。

## IVまとめ

個別のこのような地域と介護、医療との連携が、地域ケア個別会議を重ねていくことで、小さいですがネットワークが広がっていくと考えています。

今後とも地域の方のご協力よろしくお願いいたします。

